

事業番号	09 04 01	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に応える園芸産地育成事業				担当課	部局	農政部	
						課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H25 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	①オリジナル品種や新品目・新技術などの導入、②実需者等の要望に応える生産・流通体制の整備、③園芸産地が持続的・安定的に供給量・品質を確保できる生産の仕組みづくりを進めることにより、競争力の高い園芸産地づくりを実現する。 <b>【達成指標】</b> 果樹オリジナル品種の出荷開始時期前進 [(通常H30初出荷を) → H27:10t、H28:20t]、3中央卸売市場の4~5月本県アスパラガス入荷量 [H22:260t→H29:350t]、トルコギキョウ10月~11月切花本数 [H22:108万本→H29:250万本]				
現状(予算編成時)	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の約70%(H25 園芸作物1,972億円/全体2,832億円)を占める主要部門であり、引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。近年の食の外部化や需要の多様化の進行に対して、「売れる物をつくる」という視点から、①新品目・新品種・新作型等の早期産地化への取組み、②実需者ニーズに対応した生産体制の確立や普及、が一層求められている。				
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】		
	県民との協働による実施: 実施中		園芸振興に効果的な施策を展開し、農業者等の主体的な参画と協同を促す。長野県食と農業農村振興計画、農畜産業振興事業補助金交付要綱		
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	果樹オリジナル新品種早期産地化プロジェクト実証ほ 10カ所、アスパラガス産地化プロジェクト取り組み面積12ha、アスパラガス4~5月出荷量300t、トルコギキョウ秋出荷作型モデル地域3地域(JA)、需要に応える新品目・新技術を導入するモデル地区12地区				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績		
			H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
需要に応える園芸産地育成事業	補助金	新たな産地を築く園芸品目振興プロジェクト(3件)、マーケット需要対応力・収益力強化事業、園芸産地継承支援事業(補助先:JA全農長野、園振協うまくだ推進部会、産地JA、農業者組織団体等)	43,500	42,954	45,000
アスパラガス産地化プロジェクト		アスパラガス1年養成苗の供給による早期産地拡大			
		合計	43,500	42,954	45,000

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	43,500	43,500	43,500	45,000
	補正予算				
	合計(A)	43,500	43,500	43,500	45,000
	一般財源	43,500	43,500	43,500	45,000
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	43,500	43,500	42,954	
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	
概算人件費	2,477	2,477	2,483	2,483	
概算事業費(B(A)+C)	45,977	45,977	45,437	2,483	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
果樹オリジナル新品種早期産地化プロジェクト実証園	10カ所	10カ所	10カ所	達成	—
アスパラガス産地化プロジェクト取り組み面積	8ha	12ha	12ha	達成	—
アスパラガス4~5月出荷量	290t	300t	330t	達成	—
トルコギキョウ秋出荷作型モデル地域	2産地	3産地	3産地	達成	—
需要に応える新品目・新技術を導入するモデル地区	18地区	12地区	17地区	達成	16地区
ジュース用トマト栽培面積	—	—	—	—	164ha

目標に対する成果の状況	関係機関及び農業者による実証ほやモデル産地・地区の設置などの結果、重点的に取り組んだ品目の生産拡大につながった。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 園芸作物は本県農業の主力分野であり、実需者ニーズに対応した生産供給体制の強化が課題であることから、現行どおり事業を実施し、競争力の高い園芸産地づくりを進める。
--------------------	--